

第 2 回深川市庁舎整備検討会議の内容等について（主な発言の要旨）

令和元年 7 月 24 日（水）開催

【先進地視察について】

- ・水回りのほか冷暖房設備等に関心があった。費用はかかるが本市でも必要な設備と感じた。
- ・バリアフリー等の考え方がしっかり取り入れられ、開放的で利用しやすい庁舎と感じた。
- ・ガラス面が多く明るく開放的でトイレも綺麗であった。職員の執務スペースも広く感じが良かった。
- ・土地の高低差を上手く利用した建物で、執務室とバックヤードが明確に分かれていたり、執務室の机も長テーブルで多様に利用できるなど細部わたり配慮が行き届いた庁舎だと感じた。
- ・明るく通路が広く開放感があった。カフェがある5階には親子が集まり楽しそうな雰囲気が良かった。階段も柔らかく感じ足には優しい造りであったので、ぜひ参考にさせていただきたい。

【基本計画案の構成予定について】

- ・建替えを念頭にかつ長期的視点で新庁舎を構想しなければいけなく、人口減少が進む中、新庁舎をどのような位置付けとしていくか。
- ・基本計画では、周辺地域との調和という項目が無いがその辺をどう考えるか。
- ・施設の複合化の検討を含め、短期間で具現化することが非常に多くある事を改めて感じた。

【庁舎に必要な機能について】

- ・資料に記載されている内容が本当に出来上がればすばらしい庁舎になる。北広島市ではエレベーター等は職員は使わないようにしていると伺ったが、そうした差をつける必要はないと考える。

【庁舎の規模(面積の算定等)について】

- ・人口や職員が減少しても、必要な行政サービスを提供しなければいけなく、市民との共助を上手く築かなければ成り立たない。
- ・行政サービスの維持のため、総合福祉センターの社会福祉協議会や庁舎内の更生保護サポートセンターなどの機能を取り入れる必要もあり、面積算定は職員数だけではなく、そうした点も考慮に入れて検討いただきたい。
- ・コンパクトな庁舎をとの考えであったが皆さんの話を聞き必ずしもそうではないという気持ちに変わってきた。他の施設と複合化して市民が喜び使いやすい庁舎を造っていかねばいけない。

【石狩川ハザードマップについて】

- ・周辺施設との連携等が可能のため現在地での建替えが良いと思っていたが、ハザードマップでは 0.5m～3m の浸水域にあり心配になった。高い場所で建替えた方が良いのではないか。

【その他】

- ・市民の意見を踏まえ、検討会議の議論を振り出しに戻すということにはならないと考える。検討会議と市民それぞれの意見を受けて、市が総合的に判断すべきものと理解している。
- ・深川市は北広島市庁舎のように多額の経費をかけられるか。バリアフリー・ユニバーサルデザインの視点で見ると違う造りがあったので写真を見ながら議論したい。
- ・他市庁舎整備のアドバイザーをしているが、経験を踏まえ皆と一緒に新庁舎を造っていきたい。
- ・会議資料については、事前に送付するようさせていただきたい。